

科学用語及びその他の用語の解説

この用語解説にあるいくつかの定義は別の資料から直接引用されている。これらの資料は、本用語解説で省略されているが、以下に列挙したとおりである。

Alberts: Alberts, B., Bray, D., Lewis, J., Raff, M., Roberts K. and Watson J.D., 著
「細胞の分子生物学」第3版(1994) Garland Publishing, New York

BAD: Dalal-Clayton, D.B. 編「ブラックの農業事典」第2版(1985)

BMD: Macpherson, G 編「ブラックの医学辞典」第38版(1995)

BVD: West, G 編「ブラックの獣医学辞典」第18版(1995)

COD: Pearsall, J 編「コンサイス・オックスフォード辞典」第10版(1999)

DOA: Stephens, A 編「農業事典」第2版(1996)

IPCS: 世界保健機構編 化学的安全性に関する国際プログラム、訓練モジュール1号
「化学的ハザードとは何か?」第2版、1990年7月

Taber: Thomas, C.L. 編「テイバーの医学百科事典」第18版(1997)

太字の語句は本用語解説にも定義されている他の語句を参照のこと。

ABRC: Advisory Board for the Research Councils

研究会議の諮問委員会

ACARD: Advisory Council for Applied Research and Development

応用研究開発諮問会議

Acetyleneimine : アセチルエチレンイミン:

ウィルスを不活化することができる溶媒

Acinetobacter calcoaceticus : アシネトバクター・カルコアセティクス:

土、下水、水道中に大量に見つかるよくある細菌。BSEのあり得る原因として自己免疫説において提唱された。

ACOST: Advisory Council on Science and Technology

科学技術諮問会議

AD: Alzheimer's disease

アルツハイマー病

ADAS: Agricultural Development and Advisory Service

農業開発諮問機関

Adjuvant: アジュバント:

抗原に対する免疫反応を亢進する物質

Aetiology: 病因学

疾病の原因又は起源に関する学問

AFRC: Agricultural and Food Research Council

農業食糧研究会議

Agalactia: 乳汁分泌欠如:

乳腺からの乳又は乳汁分泌が一部又は完全に欠如する

Agent: 病原因子	こと (BMD) 何らかの影響、例えば疾病を及ぼす物質又は生物。この用語は TSE 研究において普通の病原体に使われていたものを避ける中性的用語として長く使用されてきた。
AI: artificial insemination	人工授精
Aliquot: アリコート	大きな全体の一部分
Alleles: 対立遺伝子	所定の 遺伝子座 で発生するかもしれない別の 遺伝子 の一つ
Alpha ()-helix: アルファらせん	蛋白質 にあるさお状構造で、蛋白質を構成する アミノ酸 の鎖がそれ自身規則的にねじれているもの。らせんとベータ()シートは蛋白質の構造を主に決定する。
Alzheimer's disease, AD: アルツハイマー病	特に老人の早発性痴呆が特徴的な中枢神経系の変性疾患。
Amino acid: アミノ酸	蛋白質 の構成片であり、化学結合によって連結している。アミノ酸は炭素、水素、酸素と共にアミン群 (NH ₂) を含む。蛋白質の品質は、動物飼料としての価値に関して、その含有する必須アミノ酸に依存している。20 個のアミノ酸があり、リジン、 メチオニン 、トリプトファン、ロイシン、イソロイシン、フェニルアラニン、トレオニン、ヒスチジン、 バリン 、アルギニンなどがある。(BVD)
Amphotericin B: アンホテリシン B	土に住む細菌のスト렙トミセス・ノドスス: <i>Streptomyces nodosus</i> から得られる抗真菌抗生物質であり、 全身性 真菌感染症の治療に用いられる。
Amyloid: アミロイド	蛋白質から成り、多糖類と組み合わせさせて、異常な条件下である種の動物臓器及び組織に沈着する。
Amyloid plaques: アミロイド斑	脳に蓄積したアミロイドの範囲
Ante-mortem: 生前	屠殺前 (文字どおりには死ぬ前)
Anthelmintic: アンテルミンティック	駆虫薬参照
Anthracycline: アントラサイクリン	アミロイド原線維に結合することが知られている化学的誘導体の範疇
Antibody: 抗体	血中にあり 抗原 を破壊又は中和する物質。(BMD) 抗体は蛋白質のグロブリン族に属する。
Antigen: 抗原	抗体 形成の原因となる、すなわち 免疫反応 を誘発する物質。抗原は通常その生体にとって異物となる 蛋白質 である。
Anthelminthic: 駆虫薬	寄生虫を処理するために使用される物質。
Antioxidant: 抗酸化剤	酸化を防ぐ又は阻害する物質。(COD)
Aprotonin: アプロトニン	抗線維素溶解剤。

- ARC: Agricultural Research Council** 農業研究会議（後に1984年からはAFRAC）
- Astrocytosis: 星状細胞増加症** 損傷に対応して分化した細胞（星状神経膠細胞, astrocytes）の増殖。星状神経膠細胞は**中枢神経系**で見つかり、**ニューロン**の機能を支援する。
- Ataxia: 運動失調** 随意筋の運動を調整できないこと。
- Attack rate: 発病率** 感染性の病原因子に曝露された後に病によって死亡した実験的群の動物の数
- Autoimmune disease: 自己免疫疾患** 自己抗原に対する免疫系の反応の結果としての疾患。自己耐性の正常な機構が崩壊した結果である。これらの疾患にはリウマチ性関節炎や糖尿病が含まれる。
- Autonomic nervous system: 自律神経系** 平滑筋、心筋、腺組織を刺激し、不随意運動を統括する脊椎神経系の一部。（例えば、胃腸系を刺激する）
- Autosomal: 常染色体** 性染色体以外の**染色体**。
- BABs:** 1988年7月の反芻動物性飼料禁止令後に生まれた**BSE**と確認された牛。
- Bases: 塩基** **核酸**（DNAのアデニン、シトシン、グアニン、チミン；RNAのアデニン、シトシン、グアニン、ウラシル）の化学成分。この塩基は塩基対、すなわちアデニンとチミン（RNAではウラシル）及びシトシンとグアニンを形成するために他の塩基と相互作用することができる。DNAにおいては、**二重らせん**の反対側で塩基と対になって連結する。塩基は核酸の土台を構成する糖及びリン酸分子と結合し、**コドン**を構成する3つの**ヌクレオチド**と呼ばれる。図1.1参照。
- Batch rendering: バッチ方式のレンダリング** **レンダリング**の伝統的方法で、未加工の動物副産物のそれぞれの量を閉鎖的容器で、加圧下又はより普通には大気条件下のどちらかで加熱処理又は乾燥させる。バッチ方式はほとんど連続的处理に変わった。
- BBSRC : Biotechnology and Biological Sciences Research Council**
生物工学生物科学研究会議
- Beta ()-sheet: ベータシート** **蛋白質**の堅固な構造で、**アミノ酸鎖**がそれ自身の上に蛋白質を折り重ねた時に形成される。**らせん**と共に、シートは蛋白質の構造を主に決定する。
- Bioassay: 生物検定** 生きている動物を用いて行う疾患の検査。**BSE**の場合、**(バイオアッセイ)** 感受性マウスが現在利用されている。
- Biopsy: 生検(脳生検として)** 脳組織の薄片を取る小手術手技で、顕微鏡下で観察し、ある種の神経学的脳障害の患者の診断を行うことがあ

	る。
Bivalent: 二価染色体	相同染色体の対であり、最初の減数分裂前に一緒に現われる。
Blastocyst: 胚盤胞	哺乳類の細胞の分化が多少生じた発生初期の胎芽。
Bovine: ボバイン	牛科の動物、すなわち牛の、牛に関する、又は牛に似ている。
BSE: bovine spongiform encephalopathy 牛海綿状脳症	病気の進行が遅く、最後は死亡する成牛の神経学的障害。TSE も参照のこと。
BSEP: Biology of the Spongiform Encephalopathies Programme	海綿状脳症の生物学プログラム。
Buffy coat: 軟膜	全血を遠心分離したとき、赤血球の塊の上にある白血球の薄い黄白色の層。
Cadaver: 死体	(解剖用の)死体。
Carditis: 心臓炎	心臓の炎症。
Catalyse: 触媒作用	化学反応を起こす、又は促進すること。それ自身は化学変化を何も起こさないが、他の物質において変化を起こしたり促進する物質。
Catechol sulphate: 硫酸カテコール	3つの尿代謝物の一つであり、その濃度は BSE 診断に利用するために研究された。
Cell culture: 細胞培養	調製済みの栄養液で行う生きている細胞の培養法。
Cells: 細胞	ある生体の構造及び機能の最小単位であり、膜に取り囲まれた細胞質と核から成る。(COD)細胞は組織又は臓器の一部として協力的に、あるいは遊離した生きている生体として独立して機能することができる。
Central nervous system(CNS): 中枢神経系	脳、脳神経、脊髄に属す。末梢神経は含まない。
Cerebeller syndrome: 小脳症候群	小脳の機能に影響を及ぼす障害。
Cerebellum: 小脳:	脳の背側に突き出した大きな部分で、筋肉の調整や体の平衡維持に関係する。
Cerebral hemispheres: 大脳半球 (合わせて大脳を形成する)	脳の主要部分。深い裂溝によって分けられた2つの半球から成り、記憶・意欲・意志・知性・認知・随意運動・感情に関係する。(BVD)
Cervical: 頸部の	首の、首に関する。(COD)
Cheviot: チェビオット	頑健で、角のない、比較的小型のヒツジの品種。良質のマトン(羊肉)を産し、チェビオットヒルズが原産地である。
Chloroform: クロロホルム	無色、揮発性、猛毒の液体(CHCl ₃)で、エーテル臭があり、特に溶媒や動物用麻酔として用いられる。

Chromatid: 染色分体	各 2 本の糸状要素であり細胞分裂の際に染色体に分かれる。
Chromosome: 染色体	ほとんどの生きている細胞の核に見つかる核酸とそれに関連する蛋白質からなる糸状構造のものであり、遺伝情報を担う。ヒトの細胞には 46 個 (23 対) の染色体がある。この染色体は多くの遺伝子から作られ、遺伝子はコドンから作られ、コドンは 3 つのヌクレオチドから各々作られる。
CJD: Creutzfeldt-Jakob disease : クロイツフェルト・ヤコブ病	ヒトの伝達性海綿状脳症。 TSE も参照のこと。
CJDSU: national CJD Surveillance Unit	全国 CJD サーベイランスユニット。
CMO: chief medical officer	主席医務官。
CNS: central nervous system	中枢神経系。
Codon: コドン	核酸の中の 3 個連続したヌクレオチドの配列で、特別なアミノ酸又はシグナル配列を明確にする。
Cohort study: コホート研究	MAFF によって実施された母子感染研究。コホートは同じ種の動物群であり、共通の特性によって同定され、科学的又は医学的研究の一部として一定の期間にわたり研究される。
Collagen: コラーゲン	動物の結合組織にある主な構造蛋白質で、煮沸するとゼラチンとなる。
Colostrums: 初乳	分娩後 3~4 日の間母親から最初に分泌される種類の乳汁。高濃度の蛋白質、ビタミン、抗体などを含む。
Compound feedstuff (or feeding stuff): 配合飼料	植物や動物起源の製品を自然の状態で、新鮮なまま、又は保存がきくような混合したもの、あるいはそれから工業的加工によって生産されたもの、もしくは、有機肥料又は非有機肥料によって生産された添加物を含むか含まないもので、完全飼料の形態で動物が経口摂取する餌。
Conformation: 立体配座	蛋白質のような分子における三次元的立体構造。蛋白質の立体配座はプロテアーゼへの近づきやすさを決定する。
Conformer: 配座異性体	特別な立体配座を持つ蛋白質。
Conjugate: 共役	接合、又は結合すること。
Continuous rendering: 連続的レンダリング	未加工の動物の副産物を持続的加熱/乾燥過程に入れて行うレンダリングの方法。現在最も主要な世界的に行われている加工法。製造系統には次のものが含まれる。デューク釜、ストード・パーツ乾燥機、カーバー・グリーンフィールドシステム、プロテックシステムである。参

照.バッチ式レンダリング

Co-translational event: 共翻訳事象	蛋白質の合成 (mRNA から翻訳) の際に行われる、糖化やリン酸化のような、蛋白質の修飾。
Crossing-over: 交差:	母系及び父系の染色体が部分的に交換される過程で、その結果 対立遺伝子 が「シャッフル」される。
CSA: chief scientific advisor	最高科学顧問
CSF: cerebrospinal fluid	脳脊髄液。脳腔内の液体で、脳や 脊髄 の表面を浸している。
CSG: chief scientist's group	主席科学者グループ、MAFF
CSL: Central Science Laboratory	中央科学研究所
CSP: Council for Scientific Policy	科学政策会議
CVL: Central Veterinary Laboratory	中央獣医学研究所、サリー州ウェイブリッジ
CVO: chief veterinary officer	主席獣医務官
CWD: chronic wasting disease 慢性消耗性疾患	ミュールジカやエルクの伝達性海綿状脳症。TSE も参照のこと。
Cytoplasm: 細胞質	細胞の主要部分。
Cytotoxic: 細胞毒性のある	細胞に直接毒性を及ぼす物質の描写で、細胞の再生や成長を阻害する。
Daltons: ダルトン	原子、分子、又は核の微粒子の質量を表現する単位。1 ダルトンは、最も多量にある炭素である炭素 12 原子 1 個の質量の 1/12 と等しい。
Degradation: 分解	蛋白質の「変質」又は解体。
Dementia: 痴呆	精神の衰退した状態で、しばしば情動的無関心を伴う。
Derris: デリス	デリス根及び茎から作られる製剤で、殺虫剤として用いられる。
DES: Department of Education and Science	教育科学省
Dextran sulphate: 硫酸デキストラン	ウィルスに対して活性のあることが知られている特異性のある炭水化物。
DH: Department of Health	保健省 (1988 年 7 月までは DHSS)
Diisopropylfluorophosphate: ジイソプロピルフルオロリン酸:	OP (有機リン酸系) 化合物。
Diploid: 二倍体:	完全な遺伝材料をもった細胞で、 相同対の染色体 から成り、各遺伝子の複製を 2 つもつ。二倍体細胞には各親からの染色体 1 つがある。
Disulphide bond: ジスルフィド結合	折り重なった蛋白質鎖の、硫黄原子 2 個を含む アミノ酸 の間の結合。これらの結合は細胞外蛋白質の三次元構造を安定化し、化学反応によって切断されたり再結合したりすることができる。

- DNA: deoxyribonucleic acid** デオキシリボ核酸。核酸参照。
- Domoinance: 優性** 異型接合条件において、他方の発現を抑制する 1 対の対立遺伝子又は形質の、一方の特性。
- Dominant hemimelia(Dh): 優性半肢症** 遺伝性障害の結果である、前腕又は手の奇形。
- Dopamine: ドーパミン** ノルアドレナリンの前駆体で、交感神経系及び中枢神経系のある部分の伝達の原因ホルモン。ドーパミンは特に脳の神経伝達物質として生じる。
- Dorsal root ganglia: 背根神経節** 脊髄神経の背根にある隆起。感覚ニューロンの細胞体が含まれている。(BMD)
- Dose-response curve: 用量 - 反応曲線** 異物の用量とそれによって生じる反応の程度との間の関係を示すグラフで、確定した作用を示している曝露母集団の百分率によって測定される。(IPCS)
- Double helix: 二重らせん** DNA の分子構造で、DNA の 2 本の鎖が塩基対によって結合し、お互いに巻き付いたらせん状になったもの。図 1.1 参照。
- Downer cows: 立てなくなったウシ** 起き上がれなくなる臨床的発現のこと。これはよくある出来事で、通常は分娩前後に起こり、神経学的疾患を含めて様々な原因があり得る。症例の一部は事実 BSE の症例であるといわれてきた。
- DTI: Department of Trade and Industry**
通商産業省
- Dura mater: 硬膜** 3 種の膜、又は髄膜の中で最も外側にあり強度が高いもので、脳や脊髄を包んでいる。(BMD)
- EAE: experimental allergic encephalopathy**
実験的アレルギー性脳脊髄炎
- Effective dose: 有効量** 疾患（生物のため）、又は有益な効果（治療のため）を生じさせるのに必要な用量。
- Eland: エランド** *Tragelaphus* 属の大型のアンテロープ（レイヨウ）で、ねじれた角を持つ。アフリカ原産。反芻動物。
- Electrophoresis: 電気泳動** 蛋白質や核酸をそれらの相対的な電荷に基づいて分離するために通常用いられる方法。一般に、蛋白質や核酸の混合物をゲルのような多孔性の支持基剤に塗布し、電場をかける。各成分は異なる速度で電場を移動するので、同定することができる。
- Electron microscope: 電子顕微鏡** 光のかわりに、対象物に電子を放射し透過させる顕微鏡。この種類の顕微鏡は極小細部を大きく拡大することができる。ウィルスや細菌などを拡大して見るために用いる。倍率は 300,000 倍までであろう。

ELISA: enzyme linked immunosorbent assay エライザ法 (酵素結合免疫測定法)	溶液中の少量の特殊な 蛋白質 を測定するための感度の高い方法であり、蛋白質を同定するために特定の 抗体 を用いる。 反芻動物 性飼料中の MBM (肉骨粉) 検出に適用されてきた。うまくいけば、 単味飼料 又は 配合飼料 中に哺乳動物性蛋白質があるかどうか確認でき、さらに特別に、哺乳動物蛋白質の種類がわかる。
Endemic: 風土病	風土病とは、ある動物集団においていつも存在する疾病である。(BVD)
Endocrine cell: 内分泌細胞	ホルモンを血液中に分泌させる分化した動物細胞。通常、甲状腺や下垂体のような腺の一部である。(Alberts)
Enzyme: 酵素	それ自身はその反応の完了までに破壊されたり変性することなく他の物質の化学反応を 触媒作用 する 蛋白質 。
Enzyme digestion: 酵素消化	酵素 (それ自身 蛋白質) が水を用いて蛋白質を アミノ酸 又は ペプチド と呼ばれるアミノ酸グループに「解体」又は分解する過程。
Epidemic: 流行病	ある集団、地域社会、地域内において同時に不釣り合いに多数の個体を襲うような影響を及ぼす又は傾向がある疾病を表現するために用いられる用語。
Epidemiology: 疫学	ある集団内における疾病の発生数、分布、制御について取り扱う科学の一派。
Excitotoxicity: 興奮毒性	刺激を異常に引き延ばした結果として、細胞のシナプス (神経刺激が一つのニューロンから他のニューロンへ送られる地点) 上において、 神経伝達物質 の持続期間と有効濃度が上昇することによって生じる、神経細胞の死。
Experimental allergic encephalomyelitis (EAE) : 実験的アレルギー性脳脊髄炎 :	各種の動物においてミエリン塩基性蛋白質 (ホモジナイズ した脳又は 脊髄 由来) と免疫刺激物質の注入によって実験的に誘発させることができる 自己免疫疾患 。
Extraneural tissues: 神経外組織	神経系の外側にある組織。
Familial: 家族性	偶然により予想される発生よりも家族の一員の多くに発生する傾向があること。
FFI: fatal familial insomnia	致死性家族性不眠症。 プリオン遺伝子の突然変異 によって生じることがわかった、まれにあるヒトの家族性神経変性疾患。
Fibril: 原線維	小さな、又は細長い線維 (形容詞形 : fibrillar) (COD)
Formalin: ホルマリン	ホルムアルデヒドの無色の水溶液で、生物学的検体など

	の保存液として用いられる。
Flameshift: フレームシフト	タンパク質合成の間に、あるトリプレット・コドンの読みとり枠を変化させるように、 ヌクレオチド が遺伝子コードに挿入されたりそれから除去されたりする 突然変異 に関する又は突然変異する、又は突然変異が生じること。
FSE: feline spongiform encephalopathy	ネコ海綿状脳症 、1990年にネコで始めて発見された。
Gamete: 配偶子	精子又は卵子。「生殖細胞」としても知られている。
Gastric: 胃の	胃の、又は胃に関する。
Gastrointestinal: 胃腸の	胃及び腸の、~に関する、~に影響する、又は~を含む。
Gelatine: ゼラチン	無色透明、ゼリー状の物質で、 コラーゲン 由来であり、動物の骨を煮沸することで得られる。
Gemsbok: ゲムスポック	アフリカのアンテロープ(レイヨウ)。 反芻動物 ではない。Cf.ニヤラ
Gene: 遺伝子	DNA 分子の部分であり特定の ポリペプチド鎖 の アミノ酸 は配列を決定する情報を持つ。(IPCS)
Gene locus: 遺伝子座	特定の 遺伝子 の 染色体 における位置。
Genetic code: 遺伝子コード	核酸 における 塩基 配列で、その核酸から合成される ポリペプチド における アミノ酸 の順番を決定する。
Genome: ゲノム	生物の遺伝材料の完全な組。(COD)
Genotype: 遺伝子型	個々の生物の遺伝的構成。(COD)
Germ line mutation: 生殖系列突然変異	次の世代に伝達される 配偶子 に発現した突然変異。
Glycoform pattern: 糖化パターン	プロテアーゼ 消化 プリオン 蛋白の 電気泳動 によって示された特徴的なパターン。
Glycoprotein: 糖蛋白:	ポリペプチド鎖 に糖質群が結合した 蛋白質 。
Glycosylation: 糖化	蛋白質 が糖(炭水化物)の添加によって変性する過程。
Gonadotrophin: 性腺刺激ホルモン(ゴナドトロピン)	下垂体 から分泌されるホルモンで、 精巣 及び 卵巣 のはたらきを制御する。 ヒト下垂体 由来 ゴナドトロピン はかつて女性の 不妊症 治療薬として用いられた。この治療を受けた女性の中には CJD に感染していた 下垂体 によって CJD を発症したものがある。
Greaves: 脂かす	レンダリング 過程で、 獣脂 を抽出後の産物であり、さらに 肉骨粉 に加工される。
Grey matter: 灰白質	神経細胞 の核がぎっしり詰まった 脳 及び 脊髄 の部分であり、ほとんどが 神経細胞 の 軸索 から成っている 白質 よりも色が黒っぽい。

GSS: Gerstmann-Sträussler-Scheinker syndrome	ゲルストマン・シュトロイスラー・シャインカー症候群。まれにある家族性 海綿状脳症 で、現在 PrP 遺伝子 の 突然変異 に関係することがわかっている。ゲルストマン・シュトロイスラー症候群としても知られている。
Haploid: ハプロイド(一倍体)の	対になっていない単一の 染色体 から成る細胞(精子又は卵子)のこと。
HD: Huntington's disease	ハンチントン病 。
Heparin: ヘパリン	天然の抗血液凝固剤で、特に肝臓で見つかり、しばしば医療用に用いられる。
Heptane: ヘプタン	いくつかある化合物 C_7H_{16} のどれか。特に溶媒として用いられる。
Heteromeric: ヘテロメリックな	2 つ以上の異なるサブユニットから成る分子複合体のこと。
Heterozygous: 異型接合の	同じ 遺伝子 が 2 つの異なる 対立遺伝子 (allele) をもつこと。名詞形: heterozygote
hGH: human growth hormone	ヒト成長ホルモン。かつて死体の 下垂体 から生産されたが、不注意から CJD 病原因子 に汚染され、低身長のため hGH で治療されたヒトの少数に伝達性 CJD を発病させたことが知られている。
Histology: 組織学	顕微鏡レベルでの細胞や組織の研究。形容詞: histological
Histopathology: 組織病理学	疾病によって生じた組織の変化に関する医学の一つ。(COD)
 Holding: 不動産	自由土地保有権又は借地権の所有者によって保持される土地建物。(DOA)
Homogenate: ホモジネート	何かが 均質化された 時に得られるもの。
Homogenized: 均質化された	粒子を均一に分布させることによって均質にするために混合されること。
Homologue: 相同部分	遺伝学において、 染色体 の関連する対の一方のこと。形容詞形: homologous
Homomeric: ホモメリックな	同等のサブユニットから成る分子複合体のこと。
Homozygous: 同型接合の	遺伝学において、同じ 遺伝子 に 2 つの同等な 対立遺伝子 (allele) を持つこと。 染色体 の対の位置に対応すること。
Hormone: ホルモン	特定の細胞から分泌されるシグナリング(信号発信)分子で、血流中を循環し分泌された地点からはなれた地点で作用する。ホルモンは一般に細胞の活動に刺激を与える作用を持つ。

Humoral: 体液性の	免疫部門に関する、又は免疫部門の、又は、ある種の白血球によって分泌され体液中に循環している 抗体 がかかる 免疫反応 に関すること。
Huntington's disease (HD): ハンチントン病	不随意運動及び 痴呆 が特徴的な遺伝性の疾病。
Hyperbaric: 高圧の	正常よりも高い圧力の、又は高圧に関する、又は高圧を利用すること。
Hypochlorite: 次亜塩素酸塩	次亜塩素酸の塩で、よく消毒薬として用いられる。
IAH: Institute for Animal Health	動物衛生研究所。(正式には動物疾患調査研究所)
Iatrogenesis: 医原性	内科医又は外科医によって施された治療の影響により患者に誘発された精神的又は身体的に有害な状態のこと。(形容詞: iatrogenic) (Taber)
i.c.: intracerebral	大脳内の。
ID₅₀ : infective dose 50	感染用量 の単位。
Ileum: 回腸	小腸の末端部分。
Immune response: 免疫反応	異物又は異物として処理された物質に対する体の反応。それには様々な形式があって、例えば、 抗体 産生、細胞性免疫、免疫学的耐性、過敏症(アレルギー)などがある。(IPCS)
Immune system: 免疫系	多くの臓器及び 細胞 から成る体の機構であり、その体を感染、疾病、異物に対して防御するもの。
Immunoblot: 免疫プロット	疾病に関係する PrP の形態を含む、少量の生物学的物質を検出するための方法。したがって TSEs の診断に用いることができる。その材料を電場において分離し、染色することのできるシートに移す。 ウェスタンプロット も参照のこと。この方法には冷凍してから 均質化 した組織が必要であり、ホルマリンに固定された材料は利用できない。過去には多くの組織検体が病理学的診断のために ホルマリン に固定されていた。
Immunodeficiency: 免疫不全	遺伝性、又は後天性の免疫系異常の結果起こる免疫の不全であり、感染に対する脆弱性が増す。
Immunofluorescence: 免疫蛍光法	抗体 又は 抗原 を蛍光染料で標識する方法。特に組織標本における特殊な抗原又は抗体の存在を証明する目的のために用いる。
Immunomodulatory compound: 免疫調節性化合物	免疫系の機能に影響を及ぼす物質。
Immunosuppression: 免疫抑制	生来の 免疫反応 の抑制(普通は薬物による)
Incidence: 発生率	疾病の発生頻度の尺度。発生率は特に、一定期間中に発

Incubation: 潜伏期間	生じたある疾病の新しい症例の数を意味する。
Index case: 初発症例	疾病の感染から臨床的症狀発現までの期間。 決まった母集団における疾病の最初の症例。
Indirect: 間接	(直接)法より感度の高い技法
Immunofluorescence: 蛍光抗体法:	免疫蛍光法。組織標本中の抗原又は抗体に非標識一次抗体を結合させるが、一次抗体それ自身は二次抗体の多くの分子によって認識される。二次抗体は蛍光染料で標識されており、検出可能である。実際には、この結果、対象の抗原が直接検出されたなら、それにより得られる信号が増幅されることになる。
Infectious: 感染性の	伝達されうる。
Infective dose (ID₅₀): 感染用量	接種された動物の約 50%に疾病を発現させるに必要な感染性物質の量。
Inoculation: 接種	病原体 (ウイルス、細菌など) の動物への導入。
Inoculum: 接種材料	動物にその疾病を感染させたりワクチンを投与するために導入される物質。
Insulin: インスリン	炭水化物の代謝に特に必須な膵臓ホルモン蛋白質で、糖尿病の治療及び管理に利用される。
Intracerebral (i.c.): 大脳内の	脳に直接接種する経路。
Intramuscular: 筋肉内の	筋肉の中へ。
Intraocular: 眼内の	眼の中へ。
Intraperitoneal (i.p.): 腹膜内の	腹膜の内側へ。
Intraspinal: 脊髄内の	脊髄の中へ。
In utero	子宮の中で。(womb)
In vitro	ガラス (試験管) の中で、すなわち、体の外での観察。 Cf. <i>in vivo</i>
In vivo	生体内での観察。Cf. <i>in vitro</i>
Ion: イオン	1 個以上の電子を喪失・獲得した結果、陽電荷又は陰電荷を持つ原子又は原子のグループ。
Ionising radiation: 電離放射線	X 線のような短波長の電磁放射線又は紫外光のどちらか、もしくは放射性物質から放射される放射線。この種類の放射線は DNA のような生物学的分子に甚大な被害を生じさせることがある。
Isoforms: 異性体	何らかの化学的プロセスの結果として産生されることがある、形態の異なる蛋白質。
Isolate: 分離株	特定の資料から抽出された病原体又は病原体の混合物を意味する用語。TSE 分離株も参照。
Kudu: クーツー	大きな、環のある、らせん状にねじれた角がある大型で茶灰色のアフリカのアンテロープ (Tragelapus

	<i>strepsiceros</i>)、反芻動物。
Kuru: クールー	ヒトの伝達性海綿状脳症で、パプアニューギニアの先住民に見つかった。数十年前には高頻度であったが、現在新しい症例は極めてまれである。
Lateral transmission: 水平伝達	遺伝的又は母子感染以外の、ある集団内での伝達。Cf. 垂直伝達
LD₅₀: lethal dose	致死的用量の単位。
Lemur: キツネザル	夜行性の哺乳動物でサルに近いが、普通は別個の上科 (Lemuroidea) に属すると見なされている。
Lesion profile: 病変相	脳組織の損傷のパターンで、様々な TSEs の様相を識別することに用いられる。
Lethal dose(LD₅₀): 致死的用量	接種した動物の約 50%を死亡させるのに必要な感染性物質の量。
Lipid: 脂質	水に不溶だがアルコールやエーテルのような脂肪性溶媒に溶解する有機化合物。(BMD)
Louping-ill disease: ヒツジ跳躍病疾患	脳の炎症を含むヒツジのウィルス性疾患で、ダニの <i>Ixodes ricinus</i> によって伝播する。ウシ、ウマ、イヌ、ブタで見つかったこともある。
LRS: lymphoreticular system	リンパ細網系。感染に対して戦う細胞を産生し貯蔵する組織及び臓器(脊髄、扁桃、脾臓、胸腺及びリンパ節を含む)と、リンパ液を輸送する管のネットワーク。反芻動物を含む多くの種は腸にもうひとつの原始的リンパ様組織、すなわち回腸のパイエル板を持つ。
Lymph: リンパ	リンパ管で体内を循環する液体。血液に似るが無色である。ある種の白血球を運ぶ。
Lymphocyte: リンパ球	異物の分子(抗原)によって活性化された時に免疫反応を起こす白血球。T-リンパ球は胸腺でつくられ、細胞介在性免疫(すなわち抗原を直接攻撃し破壊すること)の原因であり、ある種の白血球を刺激する。B-リンパ球は哺乳動物の脊髄でつくられ、体内を循環する抗体産生源である。
Lymphoid tissue: リンパ組織:	リンパ、リンパ球、抗体の産生に関わる組織で、リンパ節、胸腺、扁桃、脾臓から成る。
Macaque: マカク	アフリカ及びアジア産の旧世界ザルの属。
MAFF: Ministry of Agriculture, Fisheries and Food	農水食糧省
Marmoset: マーモセット	小型の熱帯アメリカのサル。
Maternal transmission: 母子感染	母親から子どもへ子宮内 (<i>in utero</i>) 又は分娩後 (<i>post-partum</i>) の直後の期間に起こる伝達。

MBM: meat and bone meal	肉骨粉。レンダリングによって生産された動物性蛋白質。動物の飼料の蛋白質原料として用いられる。
Medulla oblongata: 延髄	脳の最後部で、脊髄に続く。呼吸や心臓の動きや嚥下を統括するような、生命活動に最も必要な神経中枢のいくつかがここに位置している。
Meiosis: 減数分裂	細胞分裂の一種で、その結果、母細胞の半分の染色体数をそれぞれ持つ娘細胞ができる。(COD)
Membrane protein: 膜蛋白:	細胞や核のような細胞の小器官の表面膜に埋め込まれた蛋白質。
Mesenteric: 腸間膜の	小腸を支持している腹膜のひだに関する。
Metabolite: 代謝物	代謝の産物。代謝 (metabolism) とは生命を維持するために生体内で生じる化学的過程。
Methionine: メチオニン	必須アミノ酸の一つで、PRNP 遺伝子のコドン 129 がメチオニン又はバリンのどちらかについて暗号化することができるので、CJD に関係がある。変異型 CJD の症例では、コドン 129 上でメチオニンについてすべて同型接合であったが、医原性 CJD の症例では、バリンの同型接合の遺伝子型が有意に過剰であることと関係がある。
Methyl bromide: 臭化メチル	1963 年にスマーデン(ケント)の工場から漏洩した化学的突然変異原。
Micro-organism: 微生物	顕微鏡又は限外顕微鏡サイズの有機体で、細菌やウイルスを含む。
Missense: ミスセンス	正常に産生される蛋白質の異常形を生じさせるような突然変異。
Mitosis: 有糸分裂	細胞分裂の一つで、母細胞と同じ数及び同じ種類の染色体をそれぞれ持つ娘細胞ができる。Cf.減数分裂
Molecular chaperone: 分子シャペロン	他のポリペプチドの適正な構築を仲介する蛋白質だが、それ自身は機能的に構築された構造の一部ではない。
Molecular mimicry: 分子相同	分子配列を特定のヒトの組織と共有する細菌のこと。
Molecular weight: 分子量	化合物の分子の平均質量を、炭素 12 の質量の 1/12 と比較して、構成原子の原子量の合計として計算したもの。
Morbid: 病的な	疾病に侵された、又は疾病によって誘発された。
Moufflon: ムフロン	野生のヒツジ。
MRC: Medical Research Council	医学研究会議
MRI: magnetic resonance imaging	核磁気共鳴画像法。体の中、特に柔らかい組織、例えば脳の内部構造を画像化するために用いられる画像診断技術。

mRNA	メッセンジャーRNA。
Multimeric protein structure: 多量体蛋白質構造	2つ以上のサブユニットからなる蛋白質の構造。
Multiple sclerosis: 多発性硬化症	麻痺や振顫のような症状を発現する脳及び脊髄の疾患。
Mutation: 突然変異	細胞の染色体において遺伝物質(DNA)に生じる変化。それは細胞が2つの娘細胞に分裂する際にその遺伝物質の複製の過誤によって生じることがある。また、放射線や化学的突然変異原に曝露された結果発生することもある。
Mutism: 緘黙症(無言症)	特に脳の損傷の結果として話すことができないこと。
Myelin: ミエリン	ニューロンによってはその上にある「絶縁体」。
Nasopharynx: 鼻咽頭	軟口蓋の上にある咽頭の部分。
Negative-line: 負の系統	特別な疾病の病原因子に抵抗性があることが知られているある動物種の選択育種された系統。Cf.正の系統
Nematode: 線虫	動植物に寄生したり土中や水中で独立生活をしている長く伸びた円柱状の虫の(分類上の)門。
Nemavirus: 線状ウイルス	TSEsの感染病原因子といわれていた種で、TSE関連一本鎖DNA(ss-DNA)がSAF蛋白の芯と蛋白質の外層には含まれている。2.59-61節参照。
Neonate: 新生児	新産児。
Neuroblastoma: 神経芽細胞腫	悪性の出血性腫瘍。
Neurodegenerative disease: 神経変性疾患	中枢神経系の障害で、神経組織の漸進的進行性喪失が特徴的である。
Neurology: 神経学	神経系、特にその構造、機能、異常性についての科学的学問。
Neuron: ニューロン	神経細胞。
Neuropathology: 神経病理学	神経系及び神経系に生じるその構造的機能的変化の疾患に関する学問。(Taber)
Neurotransmitter: 神経伝達物質	神経の活動を他の細胞に伝達する物質。
NHS: National Health Service	国民健康サービス。
NPU: Neuropathogenesis Unit	(エジンバラの)神経病因学ユニット。
NSE(neuron specific enolase)	炭水化物の代謝にかかわる特定の酵素(エノラーゼ)で、神経細胞にのみ見つかる。
Nucleic acid: 核酸	ヌクレオチドとして知られている単位から構成される物質。自然界には2種類の核酸がある。すなわちデオキシリボ核酸(DNA)とリボ核酸(RNA)である。(BMD)
Nucleotide: ヌクレオチド	核酸(RNAとDNA)の基本的構成単位で、5つのプリン塩基又はピリミジン塩基(シトシン、グアニン、アデニン、チミン、ウラシル)の内の一つ及びリン酸グルー

	ブと結合した糖から成る。
Nyala: ニヤラ	シカに似たアフリカの 反芻動物 。Cf. ゲムズボック 、 エランド
Ocelot: オセロット	中型のアメリカの野生ネコ (<i>Felis pardalis</i>)
Octapeptide: オクタペプチド	8つの アミノ酸 から成る 蛋白質 の断片又は分子。
Oestrus: 発情期	雌ウシが雄ウシを受け入れる期間。
Offal: 屑肉 (臓器)	動物の内臓及び臓腑。
OP: organophosphate or organophosphorous insecticide	有機リン酸 又は 有機リン の殺虫剤。いくつかの合成化学殺虫剤の中で、リン酸を含む化合物に基づき、神経系に影響を及ぼす。(DOA)
Organelle: 小器官	特有の機能をはたらせる細胞の分化した部分。
Oropharynx: 口腔咽頭部	咽頭 の中央部分。
Oryx: オリックス	大型のがっしりとしたアフリカ及びアラブのアンテロープの小属。
OST: Office of Science and Technology	科学技術局 。
Ovine: オービン (又はオバイン)	ヒツジの、ヒツジに関する。
Parenteral: 非経口	口や腸管以外の経路によって 接種 すること。(BMD)
Parkinson's disease: パーキンソン病	主に晩年に発症する慢性進行性神経疾患で、脳における ドーパミン 産生が減少することに関係があり、静止している筋肉の振顫や弱化、引き摺り歩行が特徴的である。
Parturition: 分娩	子どもを出産すること。出生。(COD)
Passage: 継代	培地、生体、又は発生途中の卵で 微生物 を複製すること。 TSEs の場合、感染性の 病原因子 はしばしば一連の実験動物によって「継代される」。
Pathogen: 病原体	疾病の原因となり得る細菌、 ウイルス 、又は他の生体。(COD)
Pathogenesis: 病因	疾病の発生方式。(COD)
Pathology: 病理学	疾病の原因や、疾病によって体に生じる変化の学問。(BMD)
Pattern of disease: 疾病パターン	ある特定の疾病の身体的特徴(可視的及び不可視的の両方)。
Pedigree: 家系図	純血種の動物の血統図。
Peptide: ペプチド	2つ以上の アミノ酸 がー列に結合して構成される化合物。(COD) 蛋白質 は ポリペプチド である。
Peripheral: 末梢の	中枢神経系 によらない他の経路による。
PES: Public Expenditure Survey	公的支出のサーベイ。
Peyer's patches: パイエル板	小腸にある リンパ 小結節の凝集。粘膜組織、すなわち腸

Pharmacological: 薬理的	管に続く膜の組織及び粘膜下組織、すなわち粘膜の下の部分に盛り上がった卵型の部分として現われる。
Pharynx: 咽頭	薬物の、特にその治療的価値に関する特性や反応の。
Phenol: フェノール	口腔と食道の間の、脊柱側の食べ物の通路部分。咽喉。腐食性で毒性がある透明なベンゼンの誘導体で、防腐剤及び消毒薬として、製薬産業で用いられる。
Phenotype: 表現型	ある特定の個体（又は疾患）の身体的特徴（可視的及び不可視的の両方）。
PHLS: Public Health Laboratory Service	公衆衛生試験所
Phosmet: フォスメット	1985年から使用されている OP 殺虫剤で、動物の背中に浴びせるもの。動物と同様に植物にも用いられる。Carbophenotion のような他の殺虫剤と組み合わせることもある。
Physiological: 生理学	生体の健康な、又は正常な機能に特質のある、又は特異的な。
Pituitary gland: 下垂体	卵型の構造、成人では約 0.5g の重さで、脳底に付帯しており、頭蓋底の窪みに位置する。体の中で最も重要な無導管腺又は 内分泌腺 である。(BMD) 最も基本的な体の機能に直接的又は間接的影響を与える各種の内分泌物を産生する。 hGH も参照のこと。
Point mutation: 点突然変異	間違った 塩基 が新しい DNA 鎖に組み込まれるときに生じることがある DNA 合成中の 突然変異 。
Polyanionic glycan: 多価陰イオン性グリカン	複数の陰電荷を生有する炭水化物複合体（多糖）
Polymorphism: 多形性 (多型性とも表記)	その稀少さをもっぱら突然変異の再発によってのみ維持することができないような頻度で、特別な形質が 2 種以上の遺伝的に決定された変異形態の集団に発生すること。その変異形態がその母集団の 1% より多く見つければ、遺伝子座が多形性であると考える。
Polypeptide: ポリペプチド	ペプチド の鎖。
Polysaccharide: 多糖	単糖類(monosaccharide)の線形又は分岐したポリマー。多糖はしばしば糖蛋白の蛋白質と結合し、その糖蛋白の構造及び機能に特殊な性質をもたらす。
Porcine:	ブタの、又はブタの性質の。
Positive line: 正の系統:	ある疾病の 病原因子 の特殊な株に感受性が高いことが知られている動物種の選択・育種された系統。Cf. 負の系統
Post-mortem: 剖検:	死因を決定するために死体を検査すること。文字どおりには「死後」。屠殺後。

Post-partum: 分娩後:	出生後。
Post-translational event: 翻訳後事象	糖化やリン酸化のような、蛋白質の合成 (mRNA からの翻訳) 後の変化。
Primate: 霊長類	ある一連の哺乳類 (霊長目:Primates) で、ヒト、類人猿、サル、及びその類縁系統 (キツネザル及びメガネザルのような) から成る。
Prion: プリオン	プリオン蛋白参照。 「プリオン」とは 1980 年代に、蛋白質様感染性粒子 (<i>proteinaceous infectious particle</i>) から構成要素の再整理によって新たに創造された表現。
Prion protein(PrP): プリオン蛋白	プロテアーゼ抵抗型膜蛋白質、プリオン蛋白 (PrP) としても知られている。正常な、宿主に遺伝暗号を指定された蛋白質が感染した組織においてプロテアーゼ抵抗性になり、 TSEs においては CNS 病巣の周囲に蓄積する。 プロテアーゼ抵抗型 PrP^{Sc} は SAFs の主要な構成成分である。健康な動物の、脳を含む多くの多様な臓器及び組織に存在するにもかかわらず、最近まで PrP の機能はわからなかった。未感染動物において PrP は傷つきやすい「酸素遊離ラジカル」を貪食する性質がある、又は細胞間でシグナリング機能を果たすという証拠がある。
PRNP: human PrP gene	染色体 20 に位置するヒト PrP 遺伝子 。
Progesterone: プロゲステロン	妊娠を準備するために子宮を刺激するホルモン。
Prostaglandins: プロスタグランジン	子宮の収縮を促進するような、ホルモン様作用を持つ化合物。
Protease: プロテアーゼ	蛋白質の アミノ酸 どうしを繋ぐ結合の切断を触媒する 酵素 。
Protein: 蛋白質	アミノ酸 の折り重なった鎖。
Proteinase K: プロテイナーゼ K	プロテアーゼ の一種。
Protein markers: 蛋白マーカー	未知の蛋白質に対して比較できる標準又はマーカーとして利用することができる既知の特性 (例えば質量、糖化など) を持つ 蛋白質 。
Proteolysis: 蛋白分解	プロテアーゼ によって 蛋白質 を (切断して) 分解すること。
Proteolytic cleavage: 蛋白分解性開裂	特定の アミノ酸残基 の間で蛋白質を開裂させ、特有のペプチド断片を得ること。蛋白分解性開裂は酵素及び他の化学物質の両方によって行うことができる。
PrP^C, PrP^{Sen}	PrP^{Cellular} : PrP の正常な細胞の異性体で、(「プロテアーゼに対して感受性がある」ために) PrP^{Sen} としても知られている。

PrP gene : PrP 遺伝子:	哺乳動物で見つかる遺伝子で、 PrP^C の アミノ酸 配列がそれから決定される。
PrP^{Sc}、PrP^{Res}	PrP^{Scrapie} : PrP^C から翻訳後に誘導された PrP の異常な疾病性の異性体。PrP ^{Resistant} としても知られている。PrP ^{Sc} は遺伝的な用語であり、現在すべての疾病関連PrPについて用いられる。
Pruritis: 掻痒	かゆみ。
R&D: reserch and development	研究開発。
Recessive: 劣性の	相同部分対の染色体の両方が特別な突然変異遺伝子を持つ時のみ生じる疾病の。
Reduction: 還元	化学反応中に電子が原子へ付加される過程。例えば、ジスルフィド結合の還元は、その結果結合が切断される。
Render(rendering process): レンダリング	廃棄された動物の屠体の 屑肉 やその他の部分を加工して食肉、肉骨粉、 獣脂 を製造すること。乾燥/加熱処理を行い、 個体部分 (蛋白質食品)と融解した液体部分(獣脂 及び 動物性脂肪)とを分離すること。 連続的レンダリング 及び バッチレンダリング 参照。
Retropharyngeal: 咽頭後方の	咽頭 の背側部分の。
RFB: ruminant feed ban	反芻動物性飼料禁止令。
Rida: ライダ:	アイスランドのヒツジの TSE 。 スクレイピー と同じ。
RNA: ribonucleic acid	リボ核酸。「 核酸 」をみよ。
Rumen: 第一胃	反芻動物の胃の一番初めの部分。(DOA)
Ruminant: 反芻動物	その 第一胃 から吐き戻したもの(部分的に消化した食物)を反芻する(口中で噛む)動物で、胃が4つの部分に分かれている。
S&T: science and technology	科学技術。
SAFs: scrapie-associated fibrils	スクレイピー関連線維 。感染した脳の抽出物において 電子顕微鏡 によって検出することができる異常な原線維。これらの原線維が存在することは、現在 TSEs の特徴の一つと認められている。
Saline: 塩水	塩の水溶液。
SBO: specified bovine offal	特定のウシの副産物。
Scarification: 皮膚切除	皮膚の浅い切り込み。
Sciatic nerve: 座骨神経	体の最も大きな神経対の片方で、神経叢から両側に1本ずつ生じ、後脚及び骨盤部分に至り、骨盤から出て大腿部の後ろ側に下行する。
Scrapie: スクレイピー	イギリスのヒツジの風土病で伝達性 海綿状脳症 の一つである。世界中の多くの地域で見つかった。ヤギにも見つかった。マウスのような他の動物に自然に又は実験的

に伝染することがある。TSEs に関する仕事のための実験的モデル。

SE: spongiform encephalopathy 海綿状脳症。

SEAC: Spongiform Encephalopathy Advisory Committee

海綿状脳症諮問委員会。

Seizures: 発作

疾病の突発的な発現又は再発。

Serum: 血清

血液凝固が生じた時に血液から分離する透明な液体。

SHHD: Scottish Home and Health Department

スコットランド家庭保健省

Sinc gene: ジンク遺伝子:

天然のスクレイピー及び実験的スクレイピー、及び他の TSE 病原因子の潜伏期間を調節するマウスの遺伝子。その遺伝的産物 (PrP) はプリオン仮説においてその病原因子複製部位、もしくはプリオン説において感染性蛋白質の前駆体と考えられている。

Sip gene: シップ遺伝子

天然のスクレイピー及び実験的スクレイピーの潜伏期間を調節するヒツジの遺伝子。ヒツジにおけるジンク遺伝子の異型。(上記参照)

Sodium metaperiodate: メタ過ヨウ素酸ナトリウム

感染予防のために用いられる強力な酸化化学物質。

Somatic cell: 体細胞

「生殖細胞」(配偶子)ではない細胞。

SPECT: single photon emission computed tomography

単光子放出コンピュータ断層撮影。脳の横断面画像を示す核画像技術。解剖学的構造を描写する MRI とは異なり、SPECT スキャンは脳機能に関する情報をもたらす。

Spinal cord: 脊髄

中枢神経系の一部で、椎骨によって保護され、そこから脊髄神経が出ている。

Spinocerebellar: 旧小脳の

脊髄及び小脳の。

Spleen: 脾臓

リンパ細網系 (LRS) の臓器。

Splenectomy: 脾摘

脾臓摘出術。

Spongiform encephalopathy (SE): 海綿状脳症

TSE 参照。

Sporadic disease: 散発性疾患 流行病とは異なり、散発的に単独の症例が発生すること。

ss-DNA 一本鎖 DNA、すなわち、二重らせんの形ではない。線状ウイルス粒子の一部であるといわれていた。

Stereotactic electrodes: 定位電極

神経外科において脳の特定部分を刺激するために用いられる電極。この電極は正確な位置決定をすることができる装置に組み込まれている。

Straight feedstuff ('straights'): 単味飼料 ('ストレート')

植物又は動物性製品をその自然の状態で、新鮮なまま、

又は保存加工したもので、工業的加工法によって製造される単一の製品であり、添加物を含有するかどうかにかかわらず、単一の有機物又は無機物から成り、動物の経口飼料として企図されたもの。

Strains: 菌株 (株)

他の類縁生物とは区別される抗原性又は他の特徴において同一な**微生物**。**TSEs** に関して抗原性は関係がない。例えば、**スクレイピー**の株は特別な PrP 遺伝子型における潜伏期の長さ及びまたは感染した脳の病巣の種類やパターンを比較することによって区別することができる。

Strain typing: 株のタイピング

この場合、**潜伏期間**の長さとその実験宿主における**疾病パターン**を確かめることによって異なる **TSEs** を同定すること。

Subacute: 亜急性の

急性と慢性の間の疾患の。

Subclinical (as subclinical state): 不顕性の (無症状状態として)

疾患が明確な徴候及び症状を示すに十分なほど進行していなかった時。

Subcutaneous (s.c.) injection: 皮下注射

皮膚の下部への注射。

Submaxillary salivary gland: 顎下唾液腺

顎の骨の後ろ側奥深くに位置する唾液腺。

Substrate: 基質

例えば**酵素**によって活性を発揮する物質。

Suspension: 懸濁

固体がその粒子を液体又は他の固体の中に混合されてはいるが溶解はしていない時の状態。(Taber)

Sympathetic nerve: 交感神経

自律神経系の一部で、主に運動や、内蔵、分泌腺、血管の機能、意志によらずに推進される活動に関係する。

Systemic: 全身性の

体の全般に影響する。

Tallow: 獣脂

レンダリング加工製品。普通は**レンダリング**によって製造された脂肪のことを指し、ヒトの食品から動物の飼料及び工業用グリース、あるいは石鹼・油化学産業による加工後の化粧品及び医薬品、塗料及び自動車用タイヤのような種々雑多な製品に至るまで様々な範囲の製品全体のことをいう。

Tau protein: タウ蛋白

細胞構造の要素を安定化する**蛋白質**。タウ蛋白は BSE 感染のマーカーとして用いられた。

Thorax: 胸郭

胸部 (よって胸の:thoracic)

Thymus gland: 胸腺

胸部前方に位置するリンパ系臓器で、胸腺は**免疫反応**のための T-細胞として知られている白血球のある種類を産生する。SBO。**反芻動物**のスイートブレッッドとしても知られる。

Titration: 滴定 (力価測定)	化学において溶液中の物質量をその物質と反応するのに必要な基準試薬の量を測定することによって確認するために用いる工程。
Titre: 滴定量 (力価):	物質濃度の測定値。本報告では組織又は組織の断片中の TSE 病原因子 濃度を評価する方法。
TME: transmissible mink encephalopathy	伝達性ミンク脳症、すなわちミンクの TSE 。
Toxicity: 毒性:	有毒である性質、特に有害作用の程度。化学物質によって生じた毒性の強さはその曝露濃度及び曝露時間に直接比例する。この関係は臓器の発生段階及びその生理的状态によって様々である。 <i>急性毒性[acute toxicity]</i> : 化学物質の 1 回投与後短時間で、もしくは短期間又は継続的曝露の直後、あるいは 48 時間以内の複数投与後に発生する有害作用。 <i>亜急性[subacute (亜慢性[subchronic]) 毒性[toxicity]</i> : 化学物質をある生体の寿命の一部期間 (普通 10%を超えない) 毎日繰り返し投与した、又はその化学物質に曝露された結果発生する有害作用。実験動物に関しては、曝露期間は数日から 6 か月までの幅があるかもしれない。 <i>慢性毒性[chronic toxicity]</i> : 化学物質をある生体の寿命の一部期間 (普通 19%を超えない) 毎日繰り返し投与された、又はその化学物質に毎日繰り返し曝露された結果発生する有害作用。実験動物では、これは普通 3 か月以上の曝露期間を意味する。(IPCS)
Tracheal: 気管の	気管、喉笛に関する。
Transgenic: トランスジェニック	遺伝子工学的に作られた動物で、一つの動物の遺伝子全体、又は遺伝子の一部を他の動物の胚の遺伝子に挿入する技術によって繁殖される。例えば、マウスにハムスター由来の PrP 遺伝子を与えることができる。
Transmission: 伝達	感染性のある 微生物 の、ある動物から他の動物への移動。
Trigeminal ganglia: 三叉神経節	顔に運動及び感覚機能を供給するニューロンの集合体。
TSE: transmissible spongiform encephalopathy	伝達性海綿状脳症 。神経学的系の疾患。進行性の痴呆を伴う脳海綿状変性。ヒトの例としては CJD や クールー がある。動物においては スクレイピー 、 CWD 、 TME 、 BSE がある。(BMD)
TSE isolate : TSE 分離株	自然に発生した TSE の、他の動物種への実験的初期伝達の実験的結果であり、その実験的感染に関係した系統又

は株は同定されないままである。実験材料のこの最初の継代は次に連続してさらに移動された結果、その関係した株が同定されることがある。

Tubulofilament: 管状フィラメント 推定上の線状ウイルス粒子の構造を記述するために用いる用語。

UKASTA: UK Agricultural Supply Trade Association

イギリス農業用品貿易協会

Ungulate: 有蹄類

蹄のある動物。

Uric acid: 尿酸

血中及び尿中にある結晶質であり溶解しない物質。

Vaccination: ワクチン接種

抗体産生を刺激して疾病に対する免疫をつけるために用いられる**抗原性**製剤による治療。

Vacuole/vacuolation: 空胞/空胞形成 空胞とは、どんな種類の組織の細胞内又は細胞間にも見つかる空間又は腔のこと。**TSEs** においては数種の細胞内空胞が脳に出現することがある。空胞形成とはしたがって脳における特徴的な空胞の発生である。空胞の位置、重症度、種類の評価は、異なる TSE 株の鑑別に用いられる。

Vagus nerve: 迷走神経

延髄から生じて、特に自律神経系の感覚器及び運動繊維と共に主として**内蔵**(viscera)に至る脳神経の 10 組の対のどれか。

Valin: バリン

必須**アミノ酸**の一つ。**メチオニン**も参照のこと。

variant CJD (vCJD): 変異型 CJD

新しい変異型 **CJD**。1996 年に、CJD の以前の未確認形態として同定され、新しい病理と一貫した疾病パターンを持つ。BSE への曝露がこの疾病の発生について最もありそうな説明である。現在 vCJD (変異型 CJD) として知られる。

Vegitative dysfunction: 植物状態性機能不全

自律神経系の機能異常で、脳や脊髄とは無関係に広範囲に不随意的な様式で活動すること。

Vertical transmission: 垂直伝達 親から子へ。Cf. 水平伝達

VICs : Veterinary Investigation Centres 獣医学研究センター

VIDA : Veterinary Investigation Diagnostic Analysis

獣医学研究診断分析

Virino: ビリノ

防護的宿主蛋白 (**PrP**) と複製可能情報分子の間の雑種で、宿主に依存し、翻訳されていない**核酸**か、あるいは新しい類似体のどちらかである。

Virus: ウィルス

ウィルスは蛋白質の殻に包まれた**DNA** 又は**RNA** からなる偏性細胞内寄生体である。ウィルスは直径 20-300nm (ナノメータ) の範囲である。(1nm は 1m の 10 億分

の1)

- VLA : Veterinary Laboratories Agency** 獣医学研究所
Weanling: 離乳子畜 母乳から何か他の形態の食物へ切り替えて日の浅い動物の子ども。
Western blot: ウェスタンブロット **イムノブロット**参照。ウェスタンブロット法はとりわけ蛋白質(の分析)に用いられる。

人名録

本巻で引用された多くの研究者や大学人は、科学的慣行にしたがって取り扱い、本文では姓のみを記し、脚注に彼らの発表した業績を詳細に述べてある。しかしながら、多くの科学者及びその他の人々は共に、他の点で BSE 物語にとって重要である。彼らはその照会に対する正式な文書又は口頭で証拠を提出してきたか、本報告の他の巻で現われるかのどちらか、もしくはその両方である。これらの人々について、この人名録においては本巻で言及されている時点での彼らの肩書き、又は他の関連事項の簡略な記述を、共に記載してある。これら個人に関する他の情報は、本報告全 16 巻すべての総合人名録、第 16 巻の「参考資料」のなかに記してある。

- ドナルド・アチスン卿 主席医務官 (Chief Medical Officer) 1983-91
イングリッド・アレン教授 医学研究会議(MRC)の委員(Council member)、1989-93; アレン委員会(Allen Committee)議長; 海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の委員、1990-96
ジェフリー・アーモンド教授 レディング大学微生物学教授 (Professor of Microbiology); MRC のマレー委員会(MRC's Murray Committee)の委員、1990-93; 1995 から SEAC の委員
ロイ・アンダーソン教授 オックスフォード大学動物学部 (Department of Zoology); 科学技術諮問会議(ACOST)の委員
(現サー・)デレク・アンドルー氏 農水食糧省(MAFF)事務次官 (Permanent Secretary) 1987-93
エリザベス・アトリッジ夫人 MAFF の動物保健及び獣医学グループ担当次官 (Under Secretary responsible for Animal Health and Veterinary Group) 1989-91
ロナルド・ベル教授 MAFF 主席科学顧問(Chief Scientific Advisor)、1985-89
ピーター・ビッグス教授 動物衛生研究所(IAH)所長(Director)、1986-88
サー・トーマス・ブルンデル教授 農業食糧研究会議(AFRC)、1985-94; 生物工学生物科学研究会議(BBSRC)、1994-96